米国市場の投資資金ローテーション

2026年2月現在、米国市場では歴史的な市場構造の転換が進行しています。長年にわたり市場を牽引してきた「マグニフィセント・セブン」などの大型テクノロジー株から、中小型株や非テクノロジー・セクターへの投資資金のローテーションが鮮明になっています。

この動きは、政策環境の変化、金利見通しの調整、そしてAI関連投資の裾野拡大といった複数の要因が重なり合って生じており、投資家にとって新たな機会を提供しています。本レポートでは、この構造変化の背景と、それに伴う具体的な投資機会について詳細に分析します。



市場変化の背景

現在の市場ローテーションを牽引している主要な要因は、トランプ政権による積極的な財政政策と金融環境の変化です。これらの政策転換は、特定のセクターや企業規模に対して非対称的な影響をもたらしています。

減税策の効果

「One Big Beautiful Bill Act (OBBA)」による還付金増加が個人消費を刺激し、消費者向けビジネスの業績改善をもたらしています。特に中低所得層への還付金は、小売や娯楽セクターの売上拡大に直結しています。

設備投資促進

100%ボーナス減価償却の復活を含む設備投資インセンティブにより、資本集約型産業への投資が活発化しています。製造業や建設関連企業は、この恩恵を最も享受できる立場にあります。

AI生産性向上

AIによる生産性向上を背景とした利下げ期待が、広範な企業収益の押し上げ要因となっています。これは大型テック株だけでなく、AI技術を活用する多様な産業にも恩恵をもたらしています。

注目の中小型株投資機会

中小型株

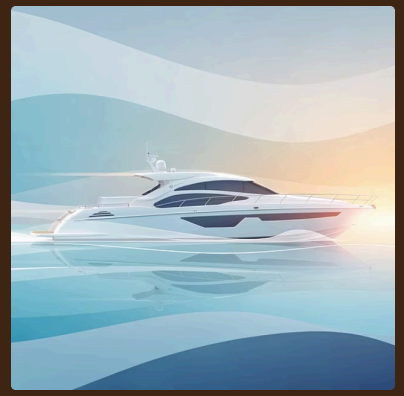
中小型株は、低金利環境と堅調な国内経済の恩恵を受けやすいポジションにあります。大型株との利益成長率の差が縮小していることに加え、バリュエーション面でも割安感が強まっており、魅力的な投資対象として再評価が進んでいます。

特に注目すべきは、国内需要に密着したビジネスモデルを持つ企業群です。これらの企業は、OBBAによる税還付増加の恩恵を直接的に受けることができ、売上・利益の両面で加速が期待されます。また、金利低下局面では、財務レバレッジを活用した成長戦略の実行が容易になるという利点もあります。



Gold.com (GOLD)

垂直統合型の貴金属プラットフォーム。地政学的不確実性の高まりと分散投資需要を背景に、騰落率が急上昇しています。オンライン販売の効率性と在庫管理の最適化により、高い利益率を実現しています。



MasterCraft Boat (MCFT)

景気回復に伴う個人消費の回復を受け、大幅な増益(予想EPS成長率64%増)が期待されます。高所得層の可処分所得増加とレジャー支出の拡大が、同社の高級レクリエーション船への需要を押し上げています。

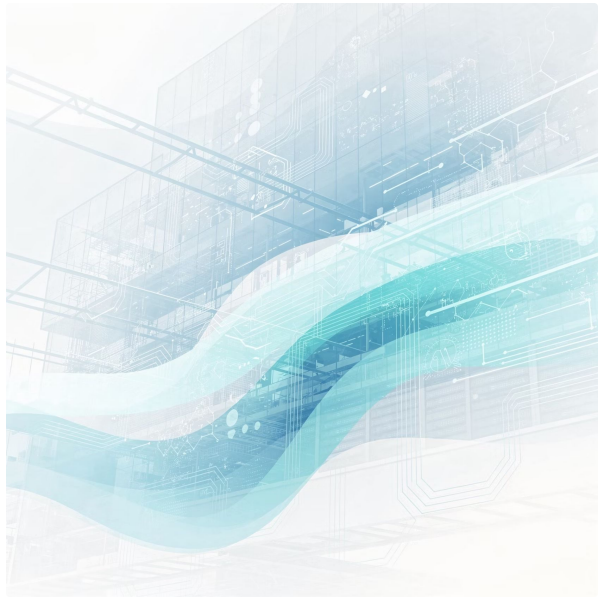


The Gym Group (GYM)

Z世代の支出優先順位の変化を背景に、堅調な会員増と収益成長を維持しています。健康志向の高まりと低価格フィットネスモデルの魅力が相まって、英国市場でのシェア拡大が続いています。

中小型株の注目銘柄(1)

以下の銘柄は、特定のニッチ市場でのリーダーシップ、強固なビジネスモデル、そして現在の経済環境における優位性を兼ね備えています。いずれも予想EPS成長率が市場平均を大きく上回っており、ポートフォリオの成長性向上に貢献する可能性があります。



Betterware de Mexico (BWMX)

メキシコを拠点とする直接販売企業。中南米市場の拡大と効率的な販売網の構築により、強固な利益成長(予想EPS成長率44%増)を維持しています。為替の安定化も追い風となっています。

Limbach Holdings (LMB)

病院、大学、データセンターなどの複雑な電気・機械設備インフラを提供する専門企業。公共投資の拡大と老朽化インフラの更新需要により、受注残高が過去最高水準に達しています。

Alight (ALIT)

人事・給与サービスのアウトソーシング企業。債務削減とオペレーションマージンの改善が進むターンアラウンド銘柄です。配当利回り5.6%という高水準の株主還元も魅力となっています。

中小型株の注目銘柄(2)

グローバル市場でニッチな競争優位性を持つ中小型株は、特定の成長トレンドの恩恵を受けやすい特性があります。以下の銘柄は、エネルギー転換、設備投資拡大、農業セクターの回復といったマクロトレンドに対するエクスポージャーを提供します。

Ashtead Technology (AT)

海底エネルギーインフラ機器のレンタル・販売を手掛ける英国企業。多様な機器ポートフォリオが市場で過小評価されており、一部アナリストは株価倍増の可能性を指摘しています。

Restore (RST)

英国の総合サポートサービス企業。設備投資への関心が高まる中、オフィス管理、記録保管、データマネジメントサービスへの需要増加により、再評価が進んでいます。

Forum Energy (FET)

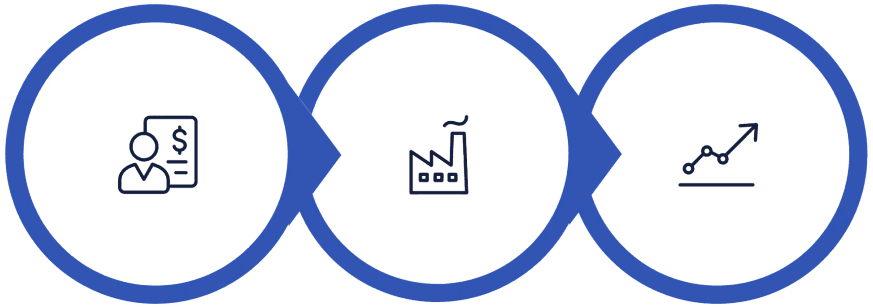
石油・ガス掘削サービス企業。製造業および掘削活動の回復により、次年度の予想EPS成長率が約199%という驚異的な水準に達すると予測されています。エネルギー需要の構造的増加が追い風です。

Adecoagro (AGRO)

ブラジル・アルゼンチンの農業大手。商品価格の安定化と生産性向上技術の導入が利益成長を牽引しています。南米の農業セクターへのエクスポージャーを得る効率的な手段です。

OBBA受益銘柄への注目

非テック株



One Big Beautiful Bill Act(OBBA)は、米国の経済政策において画期的な転換点となる法案です。法人税率の恒久化、設備投資の100%即時償却制度の復活、そして国防・エネルギー政策の大幅な転換により、製造業、エネルギー、金融セクターの大型株が構造的な再評価局面に入っています。

これらの政策変更は単なる一時的な景気刺激策ではなく、産業基盤の再構築を目指す長期的な戦略の一環です。特に、過去数十年にわたって進行してきたオフショアリングの流れを反転させ、国内製造業の競争力を回復させることを目的としています。

税制優遇

法人税率21%の恒久化と100%ボーナス減価償却により、資本集約型企業の実効税負担が大幅に軽減されます。

設備投資

即時償却制度の復活により、製造設備や建設機械への投資ROIが劇的に改善し、企業の投資意欲が高まっています。

セクター再評価

これらの政策変更は、非テック・セクターの構造的な成長を支える基盤となり、長期的なバリュエーション修正を促しています。

資本財・インフラ関連銘柄

資本財セクターは、OBBAによる設備投資インセンティブの最大の受益者となっています。製造業の国内回帰トレンド、AIデータセンター建設ラッシュ、そして老朽化したインフラの更新需要が重なり、受注環境は過去10年で最も良好な状態にあります。

Caterpillar (CAT)

OBBAの設備投資インセンティブの筆頭受益銘柄として位置づけられています。建設機械および鉱山機械の需要拡大に加え、再生可能エネルギー関連プロジェクトでの採用も増加しており、製造業復興の象徴として市場の注目を集めています。

Vertiv Holdings (VRT)

AIデータセンター向けの熱・電力管理ソリューションのリーディングカンパニー。非テクノロジー企業でありながらAIブームの核心を担い、データセンターの冷却効率と電力管理の最適化で不可欠な存在となっています。

Comfort Systems USA (FIX)

AIデータセンターや最先端製造プラント向けの高度な空調システム需要が急増しています。技術的な複雑性が高い案件での競争優位性を持ち、高いマージンを維持しながら成長を続けています。

エネルギー・国防・素材セクター

OBBAは、エネルギー自給、国防産業基盤の強化、そして国内素材産業の復興という三つの戦略的目標を掲げています。これらのセクターは、地政学的な緊張の高まりと供給チェーンの再構築という二つのメガトレンドの恩恵を受けています。



General Dynamics (GD)

OBBAによる国防産業基盤への大規模投資(総額1,500億ドル規模)の主要な受益者です。艦船建造、戦闘車両、サイバーセキュリティの各事業部門で受注が急増しています。



Exxon Mobil (XOM)

オイル・ガス生産者への強力な補助金と掘削権の大幅な開放が追い風となっています。エネルギー自給政策により、長期的な価格安定性と生産量拡大の両立が可能になっています。



Nucor (NUE)

国内製造業の回帰に伴い、建設用および産業用鉄鋼の需要が構造的に拡大しています。電炉技術のリーダーとして、環境規制にも対応した競争力の高い生産体制を確立しています。

セクター共通の追い風

レショアリング(国内回帰)とインフラ投資の拡大が、これらの伝統的産業に新たな成長機会をもたらしています。過去20年間、グローバル化の波に押されてきたこれらのセクターが、今や政策的な支援を受けて復活を遂げています。

特に注目すべきは、これらの企業が単なる景気循環の恩恵ではなく、構造的な需要シフトの受益者となっている点です。



その他の注目非テック株

非テクノロジーセクターの中でも、以下の銘柄は特定の成長ドライバーと防御的特性のバランスが優れており、ポートフォリオの安定性と成長性の両方に貢献する可能性があります。

Owens Corning (OC)
住宅用屋根材、断熱材のリーディングカンパニー。インフラ投資法案による商業建築需要と、住宅補修サイクルの回復という二つの成長軸を持っています。エネルギー効率規制の強化も追い風です。

Allstate (ALL)
債券利回りの安定化とリスク管理プロセスへの適応により、JPMorganをはじめとする大手投資銀行が「最良のアイデア」リストに選出しています。保険料率の適正化も進んでいます。

Eaton (ETN)
AIインフラや送電網の近代化に向けた電気・制御システムの需要が構造的に増加しています。電気自動車充電インフラ、データセンター電力管理など、成長分野での強固なポジションを確立しています。

Abbott Laboratories (ABT)
診断機器や医療機器部門が堅調な成長を続けています。ヘルスケアセクター内でのディフェンシブな選択肢として、市場の変動性が高まる局面での安定性を提供します。



投資環境のまとめ

今回ご紹介した銘柄に共通する背景は、トランプ政権の「高圧経済(Run Hot)」戦略です。この戦略は、完全雇用を超える水準での経済運営を目指し、積極的な財政出動と緩和的な金融政策の組み合わせによって実現されています。

特に重要なのは、OBBAによる100%ボーナス減価償却制度の復活です。この政策により、資本集約型産業の税引き後投資コストが実質的に約21%低下し、設備投資のハードルが大幅に下がっています。これは、製造業、建設、エネルギーといった伝統的産業にとって、過去10年で最も有利な投資環境の到来を意味します。

44%

税還付増加率

2026年2月から4月にかけてピークを迎える過去最大級の税還付(前年比44%増)が、中低所得層の購買力を支え、消費者関連銘柄の強力な下支えとなると予測されています。

21%

コスト削減効果

資本集約型産業の税引き後コストが実質的に約21%低下することで、企業の投資意欲が劇的に改善し、設備更新サイクルの加速が期待されています。これは長期的な生産性向上の基盤となります。

投資家の皆様におかれましては、これらの構造的変化を踏まえ、ポートフォリオの再構築をご検討いただくことをお勧めいたします。特に、テクノロジー株に集中したポジションからの分散化は、リスク調整後リターンの向上に寄与する可能性が高いと考えられます。